

「日本内視鏡外科学会」理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

日 時：2011 年 9 月 20 日（火）15：00～17：00

会 場：東京ステーションコンファレンス（東京）

出席者：北野正剛（理事長）、松本純夫（副理事長／副会長）、星合 晃（会長）、伊熊健一郎、
大貫恭正、小澤壯治、黒川良望、坂井義治、土屋了介、徳村弘実、馬場志郎、万代恭嗣、
松田公志、森川利昭、山下裕一、若林剛、渡邊昌彦（以上、理事）、
大橋秀一、木村泰三、谷川允彦、東原英二（以上、監事）、北島政樹（名誉顧問）

委任状：小西文雄、出沢明、森川康英（以上、理事）、星野健（幹事）、塩田充（総会幹事）

1. 前回議事録の件

2011 年 4 月 19 日に開催された前回理事会の議事録について確認された。

2. 退任となる理事と後任について

北野正剛理事長より、以下の現職理事が 9 月末日をもって退任となる旨が報告された。

伊熊健一郎 産婦人科（本人申出により）

土屋 了介 呼吸器外科（定款 32 条により定年）

星合 晃 産婦人科（定款 32 条により定年）

森川 康英 小児外科（定款 32 条により定年）

続いて、退任理事および各領域から以下 4 名が後任理事として推薦されていることが報告され、審議の結果、全会一致をもって以下 4 名を新理事として社員総会に推薦することとなった。

岩崎 昭憲 呼吸器外科（福岡大学医学部外科学講座呼吸器・乳腺内分泌・小児外科）

岩中 督 小児外科（東京大学大学院医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻小児医学講座小児外科学）

塩田 充 産婦人科（近畿大学医学部産科婦人科学教室）

堤 治 産婦人科（医療法人財団順和会山王病院）

3. 新評議員の選任について

若林 剛評議員選考委員会委員長より、申請者 61 名について書類による第一次審査を行い、規定の業績を充たさなかった 4 名を除き 57 名を承認したことが報告された。また、非承認の 4 名がいずれも業績に不足があったことを踏まえ、「内視鏡外科に関する論文 5 編以上（筆頭論文 1 編以上を含む）」という規定に関して、「内視鏡外科に関する」とは何かの詳細について領域ごとに明示する必要があるとの指摘があり、今回の会告に明記するとの報告があわせてなされた。

審議の結果、提案通り以下 57 名が新評議員として承認された。

赤津 知孝 平塚市民病院 外科

秋山	有史	函館五稜郭病院
秋吉	高志	癌研有明病院消化器外科
足立	智彦	長崎大学病院
池田	貯	佐賀大学一般・消化器外科
池田	哲夫	九州大学医学部消化器総合外科
井坂	珠子	東京女子医科大学第一外科
石橋	広樹	徳島大学病院小児外科・小児内視鏡外科
伊藤	雅昭	国立がんセンター東病院 下部消化管外科
岩田	貴	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 医療教育開発センター
宇田川	晴司	虎の門病院消化器外科
衛藤	謙	東京慈恵会医科大学
衛藤	剛	大分大学医学部第一外科
江原	一尚	虎の門病院消化器外科
遠藤	俊吾	昭和大学横浜市北部病院
大田	貢由	横浜市立大学消化器・腫瘍外科学
岡本	好司	産業医科大学第1外科
尾嶋	仁	群馬県立がんセンター消化器外科
加藤	恭郎	八尾徳洲会総合病院 外科
角谷	慎一	福井県済生会病院 外科
川辺	則彦	藤田保健衛生大学 坂文種報徳會病院 一般消化器外科
栗田	信浩	徳島大学病院地域外科診療部
黒木	保	長崎大学移植・消化器外科
桑原	史郎	新潟市民病院 消化器外科
桑原	元尚	福岡県済生会二日市病院呼吸器外科
近藤	圭策	大阪医科大学 一般・消化器外科
佐近	雅宏	岡谷市民病院外科
佐藤	武郎	北里大学東病院消化器外科
里舘	均	昭和大学横浜市北部病院
塩野	裕之	近畿大学医学部奈良病院呼吸器外科
柴尾	和徳	産業医科大学第1外科
芝崎	暎仁	松戸市立病院外科
清水	潤三	市立豊中病院外科
高瀬	功三	神戸労災病院外科
谷口	正次	古賀総合病院消化器外科
坪井	一人	東京慈恵会医科大学附属病院外科
徳永	行彦	大阪北通信病院外科
富田	涼一	日本歯科大学生命歯学部外科学講座
永仮	邦彦	順天堂大学医学部附属浦安病院
中村	雅史	九州大学臨床・腫瘍外科
西口	完二	北摂総合病院 一般消化器外科
濱田	円	高知医療センター消化器外科

比企 直樹	がん研有明病院消化器外科
平能 康充	福井県立病院 外科
平原 典幸	島根大学医学部附属病院消化器外科
藤森 賢	虎の門病院呼吸器センター外科
本田 五郎	がん・感染症センター都立駒込病院外科
宮地 鑑	北里大学医学部心臓血管外科
松本 逸平	神戸大学 肝胆膵外科
的場 周一郎	虎の門病院 消化器外科
山口 幸二	産業医科大学第一外科
矢野 文章	東京慈恵会医科大学消化管外科
山崎 俊幸	新潟市民病院消化器外科
山下 好人	大阪市立総合医療センター消化器外科
吉澤 穰治	東京慈恵会医科大学外科
吉松 和彦	東京女子医科大学東医療センター外科
李 相雄	大阪医科大学一般消化器外科

4. 定款の一部変更について

徳村弘実規約委員長より、以下の定款一部変更案について説明があり、原案通り承認された。

1) 提案理由

- ①理事会の議事録の記名押印の主体について、従前の出席理事から、理事長及び理事会で選出された理事1名とすることで、議事録作成のプロセスを簡素化させるための変更。
- ②本年10月1日をもって事務局所在地が移転したことに基づく変更。
- ③引用する条文番号の補正をする変更。

2) 変更の内容

現行定款	変更案
第2条（事務所） この法人は、主たる事務所を東京都文京区大塚5丁目3番13号 一般社団法人学会支援機構内に置く。	第2条（事務所） この法人は、主たる事務所を東京都千代田区霞が関1丁目4番2号 日本コンベンションサービス株式会社内に置く。
第35条（取引の制限） 1 【条文省略】 2 【条文省略】 3 前2項の取扱いについては、第46条に定める理事会運営規則によるものとする。	第35条（取引の制限） 1 【現行通り】 2 【現行通り】 3 前2項の取扱いについては、第47条に定める理事会運営規則によるものとする。
第39条（種類及び開催） 1 【条文省略】 2 【条文省略】 3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。 (1) 〃 【条文省略】 (3) (4)第30条第5号の規定により、監事から理事長に招集の請求があったとき又は監事が招集したとき。	第39条（種類及び開催） 1 【現行通り】 2 【現行通り】 3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。 (1) 〃 【現行通り】 (3) (4)第31条第5号の規定により、監事から理事長に招集の請求があったとき又は監事が招集したとき。
第46条（議事録） 理事会の議事については、法令で定めるところにより書面又は電磁的記録によって議事録を作成し、出席した理事及び監事は、これに署名又は記名押印しなければならない。	第46条（議事録） 理事会の議事については、法令で定めるところにより書面又は電磁的記録によって議事録を作成し、代表理事及び当該理事会で選任された理事1名は、これに署名又は記名押印しなければならない。
第50条（基金の拠出者の権利） 1 この法人は、第61条による解散のときまでに基金をその拠出者に返還しないものとする。	第50条（基金の拠出者の権利） 1 この法人は、第62条による解散のときまでに基金をその拠出者に返還しないものとする。

5. 2013 年度予算案の件

星合 晃財務委員長より 2013 年度予算案が示され、あわせて事務局より各勘定科目詳細等について説明があった。質疑応答の後、原案通り承認された。

6. 技術認定制度合格者の承認について

松田公志技術認定制度委員長より、各領域の合格者リストが示され承認された。各領域の合格者人数は以下の通り。

泌尿器科：新規 68 名，更新 31 名

産科婦人科：新規 4 名，更新 2 名

整形外科：新規 1 名，更新 1 名

7. 名誉会員・特別会員候補者の件

北野正剛理事長より名誉会員・特別会員候補者案が示され、継続審議していくこととなった。

なお、今後は名誉会員・特別会員の選考基準を見直すべきとの意見があり、規約委員会で選考規定案を作成することとなった。また、定款上の名誉・特別会員の規定もあわせて見直すこととなった。

8. 新事務局体制について

松本純夫将来構想委員長より、学会支援機構から日本コンベンションサービスへの業務引継状況が報告された。10 月 1 日より新事務局が稼働予定である。

9. その他

松本純夫理事より、ダ・ヴィンチ手術に関連して、学会として内視鏡手術のトレーニングセンター設置が必要との声明を出すなど、何らかのアクションを起こせないかとの提案があり、情報交換・意見交換を行った。

本件は、保険適用の問題、医療機器メーカーとの関係等、多様な問題を含み、また情勢の変動も速いことから、今後も継続審議していくこととなった。

10. 編集委員会報告

北野正剛主幹より、以下のように順調に雑誌刊行がなされている旨の報告があった。

＜「日本内視鏡外科学会雑誌」刊行状況＞

・第 16 巻 2 号 2011 年 4 月刊行

・第 16 巻 3 号 2011 年 6 月刊行

・第 16 巻 4 号 2011 年 8 月刊行

＜Asian Journal of Endoscopic Surgery (ASES) 刊行状況＞

・Vol. 4 No. 2 2011 年 4 月刊行

・Vol. 4 No. 3 2011 年 8 月刊行

11. 倫理・渉外委員会

小澤壯治委員長より、前回理事会にて COI について COI 委員会を設置し、規則制定などの業務を委ねることが決定されたので、追って森川利昭委員長より提案があるとの報告があった。

12. 総務委員会報告

伊熊健一郎委員長より、今回は特段の報告事項はないことが報告された。

13. 教育委員会報告

黒川良望委員長より、以下の報告があった。

1) 教育セミナー

第24回総会時に開催される2つのセミナーのプログラムを決定した。テーマは「大腸：技術認定取得のコツ」および、最近のトピックである「医学と用語」を取り上げることとした。

2) 用語集改訂

日本医学会用語委員会と協議し、日本医学会で作成を進めている様式に併せて編纂し、日本内視鏡外科学会ホームページにリンクする予定である。

3) 公認研究会公認

前回理事会以降に公認申請された研究会はない。

4) 後援名義使用許可

申請のあった講習会の審査・許可を行った。

(18件：東日本大震災による日程変更の申請2件)

5) 内視鏡下縫合・結紮手技講習会

90回～99回までの10回を開催し、100回・101回を10月に開催予定である。

14. 学術委員会報告

山下裕一委員長より、2012年はアンケート調査の年にあたるので、協力をお願いしたい旨の依頼がなされた。

15. 保険委員会報告

小西文雄委員長欠席のため、北野正剛理事長より平成23年度改正要望項目のリストが示され了承された。

16. 規約委員会報告

徳村弘実委員長より、ホームページに各種規約がアップされているので、是非ご覧いただきたいとの要望が述べられた。

17. 国際委員会報告

万代恭嗣委員長より、国際名誉会員の選定を進めていることが報告された。

18. 広報委員会報告

出沢 明委員長欠席のため、北野正剛理事長よりニュースレター8号が発行されたことが報告された。

19. ガイドライン委員会報告

坂井義治委員長より、9月5日に開催された委員会について以下の通り報告され了承された。

1) 各領域の取り組み状況の報告

2) ガイドライン作成のコンセンサス

- ・ガイドラインは術式別とし、1つの術式につきCQを4～8個以内とし、1つのCQに付き半ページ程度の分量とする。レファレンスについては別途記載する。
- ・CQには以下の項目を基本事項として含み、必要があればそれ以外についてもCQを作成する。
 - ①適応（癌のステージなど）、②効果・成績（開腹手術との比較）、③リスク・合併症、④ヴァリエーション
- ・エビデンスのないもの、実験段階の術式は取り上げない
- ・外科系の領域については術式名を外科系学会保険委員会連合にて規定しているコーディングに準じる。

以上の合意事項を踏まえ、北川雄光委員が作成する食道領域のCQ案をサンプルモデルとしてそれぞれの領域でCQ案を再度作成することとなった。

なお、作成にあたって外部委員を招聘すること、医学図書館協議会との連携により出版を検討しており、後日予算案を提示することがあわせて了承された。

20. 第三者評価委員会報告

森川康英委員長欠席のため、北野正剛理事長より今回は特段の報告事項はないことが報告された。

21. 技術認定制度委員会報告

松田公志委員長より、8月29日に開催された委員会討議事項に基づき報告・提案があり、以下のようによ承された。

1) ビデオクリップ編集とWeb掲示について

消化器・一般外科領域において検討され、今年度以降の申請ビデオに関して、審査委員に審査の際相応しい場面をピックアップしていただき、専門業者に編集を依頼することとなった。業者については複数業者の相見積、プレゼンテーション審査を経て（株）フェーズワンに決定した。ビデオクリップは、初年度は、胆道20、胃20、大腸20、計60クリップを予定しており、予算は年間200万円程度である。

なお、他領域において別の専門業者を選択した場合、画面構成までを担当いただき、その後にフェーズワンの作業によりWeb上に掲載することとなる。内容としては、1クリップ3分程度、各領域毎に20クリップ程度を予定している。

2) 技術認定制度に関する論文作成指針について

案が提示され、各理事が持ち帰って検討することとなった。

3) 技術認定制度と専門医制度について

技術認定制度について専門医制度に読み替えることが検討されてきたが、日本小児外科学会など外科専門医の2階目にあたる専門医制度を有する学会より、参加する日本専門医制評価・認定機構が3階目にあたる専門医制度を認めていない為、技術認定制度を専門医制度とすることはできないとの意見があったことが説明された。

そこで、技術認定制度を独自の制度として、保険点数および厚生労働省医政局へ要望した。

また、日本専門医制評価・認定機構で設置が検討されている第三者機関へ本会技術認定制度

を専門医制度に組み込んでいただくことを要望することとなった。

22. メディカル・チーム委員会報告

渡邊昌彦委員長より、ガイドライン作成を進めており、年内には完成の目途であることが報告された。

23. 医工学連携委員会報告

森川利昭委員長より、「日本医工ものづくりコモンズ 第1回交流会」の報告をニュースレターに掲載したこと、また7月1日に開催されたシンポジウムに本会として参加するなど、工学領域との連携を深めるよう積極的に活動を行っていることが報告された。

24. 大上賞選考委員会報告

土屋了介委員長より、森川康英委員が定年となるため、後任委員を選定して欲しい旨の要望が述べられ、次回理事会にて検討することとなった。

25. 伊藤賞選考委員会報告

馬場志郎委員長より、本年度の選考対象は移行期のため1～4号掲載論文が対象となるが、次年度以降は5号～翌4号掲載論文を対象とすること、また、委員長があと1期で定年となるため、新委員長選任を検討いただきたいことが報告された。

26. 専門医制度検討委員会報告

渡邊昌彦委員長より、厚生労働省および日本専門医制評価・認定機構の反応を待って、継続して検討していく旨の報告がなされた。

27. E ラーニング検討委員会報告

大貫恭正委員長より、E ラーニングのシステム構築に向けて検討中であることが報告された。

28. COI 委員会報告

森川利昭委員長より、前回理事会後に委員会を組織し、7月22日に委員会を開催したこと、その後、委員会 E-mail 審議により、「臨床研究の COI（利益相反）に関する指針（案）」、「臨床研究の COI（利益相反）に関する指針運用規則（案）」、「臨床研究の COI（利益相反）に関する指針 Q&A（案）」を作成したことが報告され、3案の原案が示された。今後理事会で検討し、次回理事会に最終案を提示することとなった。

29. 日本医学会の件

北野正剛理事長より、以下の通り報告があった。

<開催予定委員会と出席予定理事>

- ・2011年9月28日（木） 消化器外科データベース関連学会協議会…小西文雄 理事
- ・2011年10月5日（水） 第4回日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）…北野正剛 編集主幹
- ・2011年11月16日（水） 第2回日本医学会分科会利益相反会議…森川利昭 COI 委員長

<回答済み案件>

- ・「日本医学会分科会における臨床研究に関する利益相反対応の現状アンケート」に回答した。
- ・「動物愛護管理法の見直しに関する要望書」については、日本医学会に同調し、実験動物を審議の対象から除外することを要望することとした。

30. 第23回総会収支報告

森川康英前会長欠席のため、北野理事長より収支決算報告書が示された。

31. 第24回総会準備状況報告

星合 晃会長より、学会誌掲載の会告案を基に、以下のように準備状況が報告された。

- ・セッション構成とセッション数は、会長講演1、海外招請講演4、教育講演1、特別企画2、シンポジウム25、ワークショップ14、パネルディスカッション44、要望演題21、一般演題132、コメディカル5とする予定である。
- ・公募演題数は1,724題であった。
- ・総会前日の12月6日（火）に理事会他、各種会議を予定している。
- ・現在、各先生方に座長依頼を進めているところである。ご協力をお願いしたい。

32. 第25回総会準備状況報告

松本純夫副会長より、前回理事会で報告した日程にて準備を進めており、まずはプログラム委員およびAdvisory Boardにプログラムのテーマや演者、海外招待演者等についてアンケートを行った旨が報告された。

33. 第26回総会準備状況報告

山下裕一次々期会長より、前回理事会で報告した日程にて準備を進めていることが報告された。

34. その他

学会に医療事故の調査依頼があった場合の対応について意見交換を行い、裁判所等公的機関の依頼であれば、できるだけ応じる方針であることを確認した。

以上

「日本医学会だより No 46」掲載のお知らせ

日本医学会ホームページ (<http://jams.med.or.jp/>) 「分科会 NET」の項にて、印刷用のPDFがごございます。ご覧いただく際はID (igakkai) とパスワード (med 2121) が必要です。なお、ID およびパスワードは日本医学会分科会のみが使用できますのでよりしくお取り計らいのほどお願い申し上げます。
